

【学校教育目標】 ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく未来を切り拓く子の育成  
～ 学習がすき 友達がすき 自分がすき ～



# 南比都佐小だより

日野町立南比都佐小学校

令和2年2月号

一陽来復（いちようらいふく）

校長 小椋 慶洋

中国で多くの感染者を出している新型肺炎の流行で、「春節」という言葉を最近ニュースなどでよく耳にします。春節は太陰暦（旧暦）のお正月（1月1日）で、アジアの多くの国々では今も国の休日としてお祝いをしています。2020年は1月25日（土）が春節でした。日本も明治維新後に太陽暦を使うようになるまでは、この日がお正月（太陰暦は月の運行をもとにした暦なので、旧正月は必ず「新月の日」になります）でした。でも、太陽暦を採用して約150年が過ぎたので、旧暦と言われても、何かで調べないと私たち現代人には分からない文化です。



なお、2月4日は二十四節気の「立春」です。「春が立つ」という文字の通り、この日を境にだんだんと春めいてきます。立春は生活する上での1年の始まり（季節の節目）の日なので、それを迎える前日に「節分」で鬼を祓う習慣があります。皆さんのご家庭では、「豆まき」をされているのでしょうか。保育園や幼稚園では季節の風物として豆まきを扱うことが多いと思いますが、近ごろは小学校低学年でも話題にすることはあまりありません。時代の変化と言えはそれまでですが、どこかで日本古来の文化に触れる機会も作っていききたいものです。

さて、だんだんと春めくとは言いながらも、そもそも今年は暖冬で雪が積もりません。7日に予定しているスキー教室も、雪不足のため実施が危ぶまれる状況です。冬の厳しい寒さがあるからこそ、春を迎える喜びも感じられるはずですが、季節のめりはりが曖昧なのは、どこことなく違和感があります。冬の厳しさを感じないまま春を迎えるのでいいのだろうか・・・。

「冬来たりなば春遠からじ」とか「一陽来復（いちようらいふく）」という言葉がありますが、これは、「辛い時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来る」というたとえで使われます。私たちの日々の生活でも、悔しい、悲しい、寂しいといった気持ちを味わうことは誰にでもあります。もうだめだ」と思っても乗り越えられるときが必ず来ます。そして、それを乗り越えたあとには、以前よりも強い心、豊かな心をもった人間に成長できる日がやって来ます。



2月と3月は飛ぶように過ぎてしまいますが、学校においても進級・進学を前に、学習や活動の充実を心がけ、仕上げのハードル（目標）を越えさせていきたいと思えます。漢字検定、なわとび大会、6年生ありがとうウィーク、6年生を送る会など、目標に向かってチャレンジしたり仲間と協力して活動を盛り上げたりする経験は、来たるべき春に向けた子どもたちの成長にとって、大きな刺激となることでしょう。

2月28日（金）の中休みと3校時（10:20～11:25）が今年の6年生を送る会です。昨年からの練習時間がかかりすぎる「劇」は取りやめ、各学年5分間の与えられた時間を工夫して、心を込めた発表をします。短い時間ではありますが、ご都合がよろしければ是非ご参観ください。

南比小ホームページでは、学校行事や子どもたちの学校生活の様子を日々紹介しています。

南比小

検索

PC、スマホ、タブレットなど、各種端末OK!

# 2月



1	土	
2	日	
3	月	⑥委員会活動 第3回学校評議員会 19:30
4	火	
5	水	②児童集会 新一年入学説明会 13:25
6	木	わかばパン屋さん
7	金	5, 6年スキー教室
8	土	
9	日	
10	月	⑤6年がん教育学習講座
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	PTA交通立番
14	金	PTA第1回本部会 19:30
15	土	
16	日	
17	月	⑥クラブ活動
18	火	町卒業生を励ます会 (わかば学級)
19	水	②なわとび大会
20	木	
21	金	6年生ありがとうウィーク (~28日) 学級委員選出選挙管理委員会 19:00 PTA第6回評議員会 19:30
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	日野町子育て講演会 19:00 日野公民館
28	金	6年生を送る会 (中休み~③)
29	土	

## PTA子育て講演会

### 『子どもの見え方・感じ方』

～ご参加ありがとうございました！～

1 / 22 (水)のPTA子育て講演会では、日野町子育て・教育相談センターの山田彩香先生から多くを学びました。いただいた感想の一部を紹介いたします。

- 娘の食事のときの姿勢など、気になっているところだったので気をつけていきたいです。年齢に応じた関わりをこころがけていきたいです。
- 子どもの成長は心も体も生活も全てどこかでつながっているのだなと思いました。その時その時で本人が悩んだり周りが悩んだりすることの内容は変化していくものだと思いますが、一番大切なのは自分で考え自分で決定する力を身に付けていくことだなと思いました。
- 大人が「ああしなさい、こうしなさい」と言ってしまっただけでは、大人の考えをうつけしすぎてしまうし、反対に言うことをきかなくなってしまうかもしれません。見守りの中で子どもが決めたことが実際にうまくまわったかどうかを一緒に反省し、話し合うことが必要だと思いました。

地域の方々の支援による体験活動の様子です。ご協力ありがとうございました。



和楽器体験 5,6年



昔遊び体験 1年